

## ベトナムはインターネット天国？



ベトナムでは、社会全体をデジタルで結ぶデジタル・エコシステムの開発を 24 年前から始めていますが、インターネットはそのための最初のプラットフォームと見なされて重視されてきました。経済の発展と科学技術の向上と相俟って、ベトナムでのインターネット普及率は急上昇しています。現在の同国の 70% の普及率は、日本の 76% に肉薄するものです。そして何より、ベトナムは、世界で最も安くインターネットを利用できる国の 1 つなのです。

直近のデータ※によると、ベトナムにおけるインターネットの利用者数は約 6,800 万人で、ユーザーの大多数は FPT（ベトナム IT 最大手 FPT 情報通信）、Viettel（ベトナム軍隊工業通信グループ）、VNPT（ベトナム郵便通信グループ）などの国内通信事業者のサービスを利用しています。（※[List of countries by number of Internet users - Wikipedia](#)）

最近、英国のウェブサイト Cable.co.uk が発表した世界 211 の国・地域のインターネットサービスの利用料金に関する調査報告によると、ベトナムでのインターネットサービスの利用料金は 1

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

か月当たり 11.27 ドル（約 1,220 円）で、東南アジアでは最も安いことが明らかとなりました（200 位/211 国・地域；12 番目の安さ）。ベトナムのインターネット利用料金は安定していて、2020 年はわずか前年比同約 4 セント上昇したのみでした（ベトナム統計総局によると 2020 年通年の消費者物価指数（C P I）の上昇率は前年比 3.23%でした）。ちなみに同調査による日本のインターネット利用料金は 48.37 ドルで 110 位となっています。

ベトナムでは、インターネットへのアクセスは、ベトナム人はもちろん、訪問する外国人にとっても非常に簡単で便利になっています。なぜなら、ほとんどの商業施設で、常時 Wi-Fi が利用できるように環境整備されているからです。Wi-Fi は、高級ホテルはもちろん格安ホテルにいたるまで利用可能であり、さらに街角のコーヒーショップや歩道上で営まれているアイスティーショップでも利用することができるのです。例えば、ベトナムのほとんどのカフェで、顧客は 1080p の画質で Youtube を見ることができますし、さらに大多数のカフェでは顧客のインターネットの利用時間やデータ量に制限をかけていません。そのため、ラップトップコンピューターをカフェに持参し、そこで長時間働く人の姿もよく見受けられます。



当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

ベトナムでは、いつでもどこでも無料でインターネットへアクセスできるので、携帯電話会社の有料4G サービスに加入する必要すらないのです。ベトナムはインターネットユーザーにとって天国のようなところといっても過言ではないかもしれません。



【写真提供：JVRC】

<http://www.capital-am.co.jp>

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。